

広報うちこ

UCHIKO

9

September 2023

vol.311

あなたとまちをつなぐ
ふるさと情報誌

木のトンネルだーっ！

●COVER

のぞいた先に「わあ〜っ！」と広がる森の風景

NEWS&NEWS まちのニュース 特別編

Close-Up それぞれの夢舞台

ぼくの夢 わたしの夢

山田 夕依^{ゆい}さん 石畳小学校6年(石畳9)

コツコツと描き溜めた500枚—— いつか感動を与えるイラストレーターに

夢はイラストレーターです。上手に描けた絵を母や親戚に見せたとき「プロみたい」と褒めてもらったのがきっかけで、いろんな人に私が描いた絵を見てほしいと思うようになりました。

いつも家に帰ったらすぐに絵の練習を始めます。夕食ができて母に呼ばれても気付かないくらい集中していることもあります。一つの作品を仕上げるのに2時間くらいかかることもあるけれど、毎日続けることで昨日の作品と比べて良いところや改善点を見つけられるし、練習した分だけ早く成長できると思うので頑張っています。描いた絵はいつでも見返せるようにスマホアプリやスケッチブックで保管します。去年から1年間で500枚以上のイラストを描きました。好きなことには時間をかけられる性格なので、もっと上手な絵を描けるようになって、たくさんの人が感動するような作品を仕上げたいです。



CONTENTS 目次

UCHIKO vol.311

広報うちこ 2023年9月号

- 2 ぼくの夢 わたしの夢／目次
- 3 CLOSE-UP (クローズアップ) それぞれの夢舞台
- 10 まちのニュース 内子高校防犯うちわ作製／歴まちカード配布開始 他
- 12 うちこ往来 元気わくわく川まつり／演劇ワークショップ 他
- 14 フォトリポート「ふるさとの夏まつり」
- 16 みんなのひろば
リレーエッセイ／はじめてのバースデー／人☆キラリ／HELLO!!! 他
- 20 図書館へ行こう
- 21 ゆうていあ Vol.269
- 22 町からのお知らせ 生活応援商品券／こども文化体験教室／ねんきん瓦版 他
- 27 暮らしの情報 ランニング教室／ハンドメイドフェスタ／龍宮堰の堰下げ 他
- 30 健康カレンダー／お元気ですか／人のうごき／相談／当番医
- 32 住人十色

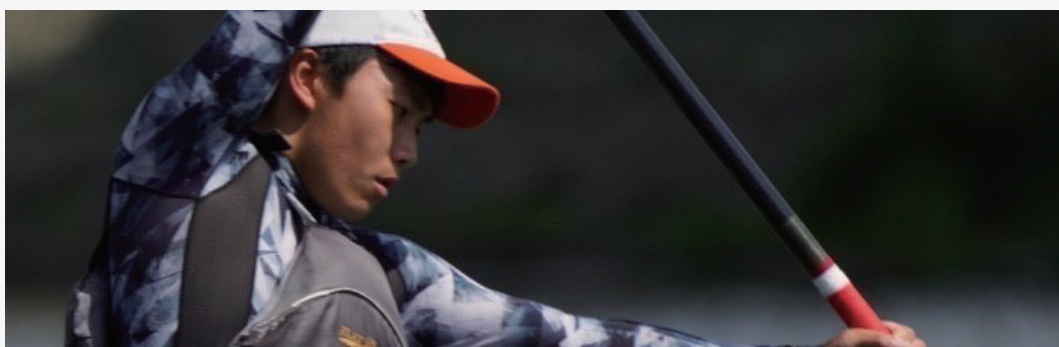
COVER

—— 表紙の写真 ——



◎8月19・20の両日に開かれた「ワンツーツリーフォレスト」では、子どもたちの笑顔が会場にあふれていました。写真は木のトンネルではしゃぐ女の子。表情がとってもかわいいですね。穴の直径が約60センチもある古木で、たくさんの人がのぞいたり、写真を撮ったりしていました。イベントの詳細は13ページで紹介しています。ぜひご覧ください。

Close-Up それぞれの夢舞台



この夏、全国大会の舞台で活躍した高校生の皆さんを紹介します。大会に向けて頑張ってきた選手たちの、競技への思いを聞きました。





1_男子カナディアンに出場した大洲高校カヌー部の皆さん。選手は左右どちらか片側のみをこぐのが特徴。笑顔で手を振る長渕さん(写真右) 2_息を合わせて漕ぎ出す4選手 3_小麦色に焼けた肌で艇を運ぶ 4_片膝立ちでバランスを取るために、さまざまなテクニックが必要 5_入賞メンバーで記念撮影(写真提供:本人)

全国大会に出場する皆さんを応援しています

内子町では全国大会や国際大会に出場する皆さんに応援金などを交付しています。事前に申請手続きが必要ですので、出場が決まったらご連絡ください。

《内子町がんばる子ども応援金》

●対象者または団体

▷個人 町内に住む小学生・中学生・高校生

▷団体 町内の小学校・中学校・高等学校に所属する団体

●応援金の額

▷全国大会 個人1万円、団体10万円以内

▷国際大会 個人3万円、団体30万円以内

《内子町スポーツ大会出場激励金》

●対象者 町内に住む人(高校生以下を除く)

●激励金の額

▷全国大会 1万円

▷国際大会 3万円

《共通事項》

●対象の大会 国などが主催または共催する全国規模の大会で、予選を経て出場するもの

ID131707

【申込・問い合わせ】

内子町教育委員会 自治・学習課 生涯学習係(内子分庁内)

☎0893(44)2114



カヌー競技/全国高等学校総合体育大会

自分たちの力を信じて 勝ち取った6位入賞

膝立ちでこぐカナディアンは、座った姿勢のカヤックよりもバランスを取るのが難しい競技です。カナディアンを選んだのは、「膝立ちのほうが格好いいから」——。バランスを少し崩しただけでもタイムに大きく影響します。自分は4人でこぐ「フォア」の最後尾を担当しています。他の3人と合わせながら、曲がったら微調整をする大切なポジションです。腕だけでなく全身をうまく使うことや体重のかけ方などを、何度も練習を重ねて一つずつ身に付けてきました。バランスを保ちながらいかに艇を真つすぐ進ませるかが難しく、面白いです。

全国大会への出場は昨年に続いて2回目です。2年生で出場した前回は艇のコントロールミスをしてしまいました。他のチームにもミスがありギリギリの8位入賞でした。今年こそは自分たちの力を出し切ろうと、4人で息を合わせることをずっと意識して練習してきました。周りにはみんな体の大きな選手ばかり。レースではスタートで少し遅れて焦りましたが、自分たちの力を信じて、一番きついラスト50メートルまで力を出し切ることができました。普段から意識してきたことが結果につながり、自分にとっては最後の大会で、自分たちの力で勝ち取った6位をとてうれしく思います。カヌー部が続けてきた全国での連続入賞を、後輩たちが受け継いでくれたらうれしいです。



長渕 一真さん
(大洲高3年)＝富中＝



内子高校ライフル射撃部の皆さん。全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会の出場種目と選手は「学校対抗戦チーム・ライフル（以下、BR）男子／安川・畠岡・久保」「BR少年男子立射40発／安川・星加・畠岡・久保」「BR少年女子立射40発／山岡」



全国高等学校ライフル射撃選手権大会
全日本高校生ピストル射撃競技選手権大会



山岡 和奏さん
（内子高3年）＝大洲市＝

気持ちが大切な競技
楽しみながら臨んでほしい

篠浦さんに誘われてライフル射撃を始めました。最初は意外とうまくできたけれど、2年生の時にスランプに。全然点が出なくてつらい時期が続きました。3年生になって後輩に教える立場になり、自分が基本を忘れていることに気がきました。足の広げ方やトリガーを引くタイミングなど、一つ一つ後輩に教えながら自分を振り返っているとまた点数が伸びてきました。一つのことに集中しなくても他がうまくいかないのが難しいです。後輩の手本になるようにと臨んだ全国大会でしたが、目標の620点を出すことができず悔しさが残ります。気持ちがすごく影響する競技で、部員には「点が出なかったらどうしよう」と不安そうにする子もいました。後輩たちにはこれからの大会に楽しく臨んでほしいです。そのほうがきっといい結果につながるはずです。



篠浦 優奈さん
（内子高3年）＝大洲市＝

自分の射撃を追い求めて
高め合った仲間たち

全国大会ではチームで唯一、ピストル射撃競技に出場しました。40分間で60発を撃ち切るため、集中を切らさないことが大切な競技です。以前は一発一発点数を確認して、10点以下が出たら焦って点数を落としてしまうことも――。今回は着弾点だけを見て、気付いたら60発撃ち終わっていたというくらい、いい集中力で臨めたと思います。ライフル射撃競技の団体戦ではマネージャーとして選手をサポートしました。部員はそれぞれ課題を持って自分の射撃を追い求めてきました。癖がつい出てしまうので、試合中も周りから気付いたことを伝えるようにしています。考え方も性格もいろいろな部員同士で支え合いながら日々練習してきたことが本番でも出せたし、次につながる大会になったと思います。内子高校の恵まれた環境で、後輩たちにこれからも頑張ってもらいたい。

松山将棋センターで撮影。同センターは小学生から大人まで、気軽に立ち寄って対局を楽しむことができる。松浦さんは居合わせた小学生と対戦したり、戦術などを語り合ったりする場面も見られた。松浦さんが中学生の頃には、センターで共にプロを目指した仲間と研究の成果を披露しあっていた。長いときは朝10時から夜8時までいたこともあるという。



高校の新人戦や高文祭、一般の大会などを合わせると、全国大会は8回目の出場になりました。将棋を通じて全国に知り合いもできました。東京の将棋カフェに集まったり、ネット将棋を指したりしてプライベートでも交流する友人もいます。愛媛に来てくれた時は、僕が小学生の頃から通っている松山将棋セ

ンターに誘って対局することもあります。話を聞いていると、強い人は自分よりもたくさん将棋の手を研究していることが分かります。自分はそこまで時間をかけてこなかったけれど、彼らに影響を受けて、より将棋に真剣に取り組むようになりました。一度負けた相手には絶対に負けたくないので、どう戦えばいいかAIソフトなどを使いながら作戦を考えます。自分より強い人に勝てる楽しさ、戦うこと自体がモチベーションになっています。

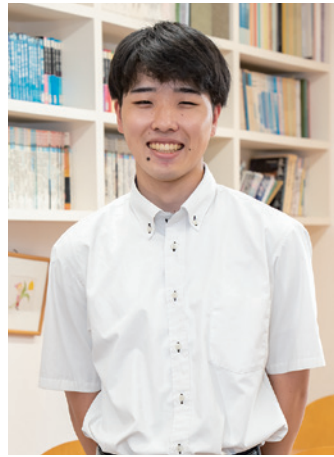


将棋／全国高等学校総合文化祭

全国の将棋仲間の存在が
強くなる原動力に

全国大会では3人チームの団体戦に副将として出場しました。予選の4局中3勝して決勝進出が決まったところで、4戦目に去年の優勝校と対戦。とても強く、自分の未知の局面になったときの手の選び方に差が出て、全国レベルの経験値の高さを感じました。

将棋は何手も先を読む奥深さが魅力でやめられません。大学でも将棋を続けたいです。全国で上位に行くことを目標に、これからも努力したいです。



松浦 玄武さん
（済美高3年）＝内子13＝



1_姉妹で全国大会に出場した、大木心琴さん(右)と、妹の沙彩さん。学校では先輩と後輩の関係ですが、家に帰ると「練習中には話せない愚痴なども、お互いたくさん聞いてもらっている」と2人で笑います 2_打席に向かう心琴さん。きれいなバッティングフォームを地道な練習で身に付けた 3_勝利を目指してチームが一つに 4_サードの守備位置で全国の舞台に立った沙彩さん。大舞台でも大きな声を出してムードを盛り上げた(2,3,4写真提供:保護者)

レギュラーとして大舞台に立ちたい

大木 沙彩さん(済美高2年)＝石畳7＝

守備が得意でポジションはサードです。普段からキャッチャーのサインやバッターを見ながら守備位置を変えるなど、普段先生に教わったことを意識しながら取り組んでいます。試合には6回裏、2アウト満塁のピンチの場面で守備から途中出場しました。絶対に点を取られてはいけない場面でしたが、思ったほど緊張はしませんでした。待ちわびた出番が来たことがうれしくて、とにかく精一杯プレーすることを考えていました。

相手は18歳以下の日本代表選手もいるチーム。それでも勝てないとは思いませんでした。試合にあまり出られなかったのが、私としては負けた悔しさをそこまで感じられていません。今後はサードのレギュラーになってもっと試合に出場したいです。チーム内の同じポジションの人には絶対に負けられません。監督からは「静かなサードはいらない」と言われているので、大きな声を出してチームを盛り上げて、勝利に導きたいです。

私を成長させてくれた3年間

大木 心琴さん(済美高3年)＝石畳7＝

1年生の時に初めて全国大会でベンチ入りしました。その時は出場機会がなく、今回初めて全国のグラウンドに立ちました。初戦の相手は春の選抜大会の優勝チームです。私たちはピッチャーを中心に粘り強く守り、得意のバッティングで打ち勝ってきたチームで、強豪相手にも全然負けていないと感じました。いい当たりが相手の正面を突くなど、なかなか点を奪えず、結局勝てなかったけれど、私たちが粘りを見せられたと思います。相手からは「今まで対戦した中で一番しんどい相手だった」と言われていたそうです。

高校では自由参加の朝練を3年間、毎日続けました。素振りを始めるといつまでも集中して続けてしまいます。練習を続けてきたことが本番でうまくできたり、試合で結果を出せたりした時が一番うれしいです。やると決めたことを最後まで続けられたのは自分自身、成長できた部分だと思います。ソフトボールを続けてきてよかったです。



1,2_型を披露してくれた中川さん。技のキレを磨くためには、スピードを上げることときれいに止まることが大切だという。一人での演武でも、まるで本当に相手がいるかのように次々と技を繰り出す 3_勢いが伝わってくる団体演武の様子(写真提供:本人)

悲願の全国初勝利を目指して

柴田 祐輝さん(伊予高3年)＝上立山＝

昨年のインターハイで初めて全国出場しましたが、最終クォーターで失点する悔しい負けでした。今年は1回戦でなんと昨年と同じ相手との対戦。「今度は絶対に負けたくない」と臨みましたが、リベンジは果たせませんでした。それでもチームの目標である丁寧なパスをつなぐことと、最後までボールを追って走り切ることを意識してきました。結果は残念でしたが、自分の力を出し切ったので後悔はありません。

ポジションは右サイドバックで、攻撃も守備もする運動量の多いところなんです。練習でもシャトルランや坂道ダッシュで体力をつけることを意識してきました。サッカーよりも展開が早く、最後まで勝敗が入れ替わるのがホッケーの面白さです。まだ全国大会で勝利したことがないので、四国大会を勝ち抜いて12月の選手権大会で1勝するのが目標です。



ホッケーではスティックを巧みに扱ってボールを運ぶ。柴田さんが守る右サイドから攻撃を仕掛けることがほとんどなので、パスをつないだり前線に攻め込んだりと攻守に重要な役割を果たす。試合終了までボールを追いかけ、全力を出し切った(写真提供:本人)

心身ともに成長させてくれる

中川 豊大さん(松山工業高2年)＝宿茂＝

9つ上の兄の影響で少林寺拳法を高校から始めました。蹴りや突きなどの型の美しさや正確さを競うものです。全国大会には6人で行う団体演武で出場しました。個人技の単独演武と、1対1で寸止めで技を出し合う組み演武を、息を合わせて披露します。目標の予選突破を果たせなかったのが、11月にある県の選抜大会で優勝して、次こそ全国大会の決勝ラウンドに進みたいです。

少林寺拳法をやっていてよかったのは、身体面でも精神面でも成長できたこと。段位が上の先生や全国の選手は動作のキレがすごくて、自分と同じ技なのにすごく迫力や深みがあり、見ていて言葉を失うほどです。自分ももっとうまくなりたくて、心身ともに上を目指して取り組んでいます。練習は基本的な動作の繰り返しです。技にスピードを出すために何度も練習して磨きをかけないといけません。新しい技も覚え、地道に努力してレベルアップしていきたいです。

熟練の技で見せる伝統芸能の奥深さ
内子座で味わう文楽公演

「内子座文楽第24回公演」(同実行委員会主催、横田光敏実行委員長)が8月19・20の両日、内子座で開かれました。

出演したのは太夫の豊竹呂太夫さん、三味線奏者の鶴澤清介さん、人形遣いで人間国宝の吉田和生さん、桐竹勘十郎さん、吉田玉男さんなど豪華な顔ぶれ。事前にリクエストで選ばれた演目を上演しました。午前の部は「壺坂観音霊験記」から「沢市内より山の段」、午後の部は「曾根崎心中」から「天満屋の

段」「天神森の段」などが披露されました。

「壺坂観音霊験記」は明治時代に作られた演目で、盲目の沢市とその妻・お里の物語。沢市の目が治るようにと夫婦で観音堂を参拝する場面を通して、互いを思い合う様子が感動を呼んでいました。

近松門左衛門が原作の世話物「曾根崎心中」では、西予市出身の吉田和生さんが天満屋のお初を熱演。徳兵衛への一途な愛情を人形の繊細な動きで表現し、訪れた文楽ファンを魅了しました。



1_「沢市内より山の段」。観音堂へ通っていることを打ち明けるお里 2_「天満屋の段」。徳兵衛をかくまうお初が足先で合図する名場面(写真提供：滝澤めぐみ) 3_登場人物のせりふなどを一人で語りきる太夫 4_三味線の繊細な音色を間近で味わうのも内子座文楽の魅力 5_公演の成功を祈念して鏡開き

「特殊詐欺に気を付けて」
高校生デザインの防犯うちわを作成



うちわを手に笑顔を見せる内子高校美術部の皆さん

大洲警察署が高校生と協力して初めて作成した9種類900枚の「防犯うちわ」がこのほど完成し、披露会が7月20日、同署内で行われました。

この防犯うちわは詐欺被害防止を啓発するため、同署管内の高校生がイラストを考案。内子高校の美術部員11人は1作品ずつ、「振り込む前に家族に相談」などのメッセージを添えたイラスト

を描きました。うちわは後日、部員と内子町防犯協会の皆さんが町内のスーパーなどで訪れた人に配布しました。

部長の堀井彩未さんは「分かりやすく目に留まるデザインを心がけた。日常的に使ってもらい、もし怪しい電話がかかってきたら詐欺かもしれないと、うちわを見て思い出してくれたら」と期待を寄せていました。



1人1枚、手渡しでのみ受け取れます。無料ですが3000枚限定です。

戦争の恐ろしさを忘れないため――
各自治センターで原爆パネル展

「平和記念原爆パネル展」が7月31日から9月3日まで、各自治センターを巡回して開かれました。戦争の悲惨さや平和の尊さを考える機会にするため、原爆に関する写真や絵画などのパネル約30点を公開。熱線で焼かれた傷跡や破れた衣

服など、被害の大きさを生々しく伝えていました。展示を見た芳我トシエさん(89)「内子9」は「大人も目を背けたくなる光景だが現実に起きたこと。子どもたちにもしっかり見てもらい、心の中に留めておいてほしい」と願いました。



内子自治センターでの展示の様子。真剣な表情で写真を見つめる

歴史ある町を訪れて手に入れよう
「歴まちカード」内子版が完成

歴史まちづくりに取り組む都市の風景や情報を紹介する、カード型パンフレットの「歴まちカード」(四国地方整備局作成)の内子版が完成し、8月1日からビクターセンター、木蠟資料館上芳我邸、歴史民俗資料館の3カ所で配布しています。

内子町は「歴史的風致維持向上計画」を策定し、令和元年6月に国からの認定を受けています。国土交通省や各地方局が認定された全国90都市のカードを制作中で、四国では内子町を含めた4都市が初めての配布となりました。

小学生力士たちが真剣勝負
恒例の「内子町子供相撲大会」



1_6年生男子の力のこもった取組 2_低学年団体の部で優勝した内子小Bチームの皆さん

「第17回内子町子供相撲大会」が8月8日、内子スポーツセンターで開かれ、町内の小学生53人が出場しました。団体戦は3人制で低学年・高学年に分かれて対戦。児童たちは力強い立ち合いや互いに譲らない一生懸命な取組を見せて、客席を沸かせました。

団体の部では低学年は内子小、高学年は五十崎小が見事優勝。個人の部の優勝者は次の通りです。

■個人の部優勝者		※1年生女子は出場者なし	
	男子	女子	
1年生	久保 かなで 奏(天神小)	—	
2年生	井上 ともき 智喜(五十崎小)	脇坂 茜音(天神小)	
3年生	大森 やまと 大音(天神小)	中川 ち智愛(五十崎小)	
4年生	佐々木 綾牙(内子小)		
5年生	森岡 しゅうと 柊人(内子小)	兼本 にこ 仁胡(五十崎小)	
6年生	宮部 はるき 晴輝(天神小)		



1_ミニシャベルを操縦して水に浮かんだ景品をすくう 2_「こどもきこり市場」で丸太切り体験を楽しんだ 3_大人気の林業機械のラジコンに夢中 4_木工プレートづくりや、たたき染めなどのワークショップも充実

標高1,000mに1,000人が来場 山の楽しさを体感した2日間

林業を楽しく学ぶ体験型イベント「ワンツーツリーフォレスト」(同実行委員会主催)が8月19・20の両日、ソルファ・オダスキーグレンデで開かれました。今年で6回目となる人気の催しで、2日間で約1,000人が来場。木を切って市場に出す流れを疑似体験する「こどもきこり市場」や、グラッブルでの丸太積み体験、伐採見学など楽しく林業を学べる催しがいっぱい。林業機械の展示や実演会などの新しい取り組みもあり、訪れた親子連れなどが森での楽しいひとときを満喫しました。

今回で3回目の参加となる水田姫咲さん(小学4年)＝松山市＝は「家族で森を探検したり、廃材で本棚を作ったりして楽しかった。自然や木と触れ合える大好きなイベント。来年も遊びに来たい」と目を輝かせました。実行委員長長の武田惇奨さんは「初年度から目標としていた来場者数1,000人を超え、喜びもひとしお。森で楽しい思い出をつくってもらうことで、林業が将来の選択肢の一つになればという思いで続けてきた。今後も内容を充実させ、林業の魅力を伝えていきたい」と語りました。



たいまつ炎が幻想的に参加者を照らす

たいまつ炎に豊作願う 五十崎の夏の風物詩「虫送り」

五十崎地域の柿原地区や上宿間地区などに伝わる「虫送り」が8月21日、小田川の周辺などで行われました。この行事は火を灯したたいまつを持って虫を追い払い、その年の豊作を願います。上宿間地区では約45人が集まり、鐘や太鼓を鳴らして田んぼのあぜ道などを練り歩きました。区長の宮下孝さんは「これからも地域みんなで協力して伝統行事をつないでいきたい」と話しました。



自分の名前や好きな絵柄をタイルで表現

モザイクタイルで自由にデザイン 「なつやすみものづくり体験教室」

「なつやすみものづくり体験教室」(内子・城廻地区愛護班連絡会主催)が8月24日、内子自治センターで開かれ、小学生15人が参加しました。ものづくりマイスター・窪中司さんの指導で、子どもたちは約1.5角のタイルを板に貼り付けたタイルアートを制作。達見清香さん(内子小6年)は「好きなタイルを選んで並べるのが楽しい。工夫してかわいくできた」と笑顔で話しました。

夏の暑さと爽やかな小田川を堪能 恒例の「元氣わくわく川まつり」

「元氣わくわく川まつり」(同実行委員会主催)が7月23日、豊秋河原で開かれました。町内外の子どもたち82人が参加し、生き物の絵が描かれた石を川に入って探す「ぞぶりんぐ」や水生生物観察、ゴムボート体験などで夏の小田川を満喫しました。実行委員会事務局長の小野里枝美さんは「川とゆっくり触れ合う時間をつくって、川遊びの楽しさも危険も知ってほしい」と話しました。



川の水はひんやりとして気持ちいい

大学生と一緒に演劇づくり 地域への理解を深める6日間

内子町と連携協定を結ぶ四国学院大学の演劇ワークショップが7月24日から29日、文化交流センタースバルで開かれました。同大学の演劇コースの学生が小田分校生や小田小の児童らとともに、地域に伝わる登貴姫伝説などを題材に劇を創作。最終日に小田燈籠まつりで披露しました。武田蒼良さん(小田分校3年)は「創作活動を通して小田の魅力を再発見できた」と感慨深げでした。



芝居とダンスを組み合わせた演劇を練習

山村で楽しむオリジナル和紙作り 「木から紙を作るワークショップ」

「木から紙を作るワークショップ」が8月に開かれ、延べ16人が参加。宿泊型の体験は11・12の両日、うちこ山村クラフト研究所などで行われ、参加者が原料となるコウゾやミツマタの採取から紙漉きまでの一連の作業を体験しました。親子で訪れた鈴木和美さん＝松山市＝は「小学生の娘たちも紙ができる過程がよく分かり、いい自由研究になったと思う」と振り返りました。



昔ながらの紙漉き作業を親子で体験

学芸員と考える民族資料の生かし方 民具を使ったワークショップを開催

歴史民俗資料館の「学芸サポーター養成講座」が8月11日、内子自治センターで開かれ、23人が参加しました。講座では実際の民具を使い、今後の活用方法について学びを深めるワークショップを実施。講師の大本敬久さん(県歴史文化博物館・専門学芸員)は「民具には使ってきた人の思い出が詰まっている。長い歴史や先祖の知恵を次世代につないでほしい」と呼びかけました。



背負子の使い方を説明する参加者



内子笹まつり 8月6・7日

7_ランタンに手を伸ばす男の子 8_笹踊りには24連・806人が参加 9,10,11,12_雨の中でも笑顔の踊り手。それぞれの衣装や振り付けで観客を魅了 13_浴衣ときれいな笹飾りににっこり 14_冷たい井戸水で涼をとる 15_子どもたちのかわいらしい笑顔があふれた2日間 16_願い事を書いた短冊をつるす家族 17_41本の見事な笹飾りが来訪者を迎える



楽しい思い出がいっぱい詰まった

ふるさとの
夏まつり

— フォトリポート —

いかざき花火大会 8月13日

20分間で約2,000発の花火を一気に打ち上げた。真近で見られて迫力のある花火大会。五十崎の夜空に咲いた大輪の花火が、多くの人々に笑顔を与えた



小田燈籠まつり 7月29日

1_小田のまちを照らす大絵燈籠の光 2_和太鼓の音色に聞き入る観客の皆さん 3_約100個の燈籠をみんなで小田川に流していく 4_和太鼓集団「喜鼓里」と小田分校生の演奏が祭りを盛り上げる 5_小田分校生が描き上げた大絵燈籠 6_優しい炎の揺らぎが小田川の川面を照らす





HAPPY BIRTHDAY

おめでとう はじめてのバースデー

9月に満1歳になる子どもたちを紹介します。

9.8



森井 瑛菜ちゃん 和田
ねえね、にいに大好き♡ いっぱい遊んで、いっぱい甘えちゃうよ☆

9.28



中谷 素晴くん 長田
わが家のヒーロー☆ 早く大好きな父ちゃんとダンスしたいよ！

9.20



熊野 灯くん 成内
7年ぶりの御祓ベビーです。体を動かすことと音楽が大好き！

「はじめてのバースデー」への掲載案内は、誕生月の前々月上旬にお送りしています。ぜひ、応募してください。



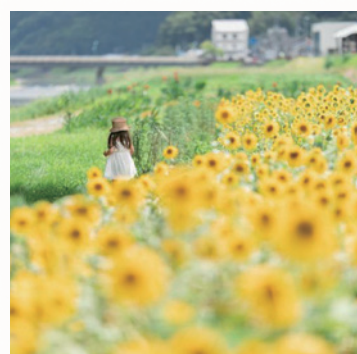
INSTAGRAM \みんなが見つけた/ 内子のいいところ「うちコト」

今回は「#うちコト」を付けて投稿してくれた中から、内子の夏を感じる写真を3つ紹介します。



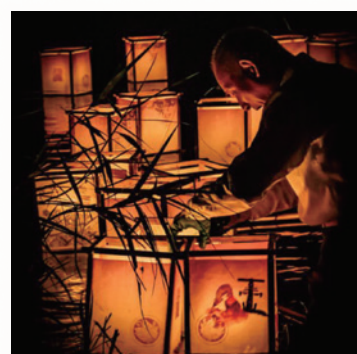
b6y114302aさん

内子笹まつりの八日市・護国の町並み。昔ながらの飾りが通りを彩る。



maixchinさん

五十崎風博物館前のヒマワリ畑で撮影。地域の人がつくるすてきな風景。



dako_photoさん

燈籠まつり後、燈籠を回収するところ。祭りの裏側で頑張る姿を収めた一枚。

「うちコト」では内子の日常や暮らし、風景など内子のコトを発信中です。皆さんもInstagramの投稿に「#うちコト」を付けて内子町の魅力を発信してみませんか。

uchikoto_official

見るだけでも楽しめるよ。ぜひ、フォローしてみね！QRコードをスキャンすると簡単に見られます。



今月の食改さん



成田 やすえ 安恵さん
＝小田下＝

●材料(4人分)

シイタケ 4個
ベーコン 30g
里芋 2個
青ネギ 1本
バター 10g
こしょう 少々
しょうゆ 少々

●作り方

①シイタケの軸の部分とベーコンはみじん切りにする。里芋は皮をむき、1センチ厚さに切る／②耐熱ボウルに①と④を入れてラップをし、600Wの電子レンジで約5分加熱する／③小口切りにした青ネギを加えて、里芋をつぶしながら混ぜる／④シイタケのかさの部分に③を詰め、トースターで約10分焼く



季節の一皿

SPECIAL DISH

シイタケの
里芋詰め焼き

みんなでつないでリレーエッセイ



「デラシネ雑感」

山下 重樹さん(65)
＝中野＝

縁もゆかりもない内子町に住んで15年が経ち、高齢者の域に入りました。親が転勤族だったので、私には故郷があ

りません。「なぜこの地に」と聞かれると、仕事で行ったバリ島の原風景と似ていたから。農業の研修や起業で移住する決意もなく、ただ漫然と住んでみようと決断しました。自身の過去を振り返ると、時代に流されてきた人生だと感じます。東京オリンピックと大阪万博には、小学生のときに訪れました。高度経済成長期の象徴だった新幹線は、社会人になって週に3回ほど利用していました。2000年問題では事態の対処を行うため東京へ赴任。バブル時代には貨幣価値にまひが生じ、はじめてからの緊縮対応への順応が難しかったのを覚えています。サラリーマンとして会社の利潤追求のために翻弄された流れを断って、大瀬地区にたどり着きました。この地は時

間の経過が自然と調和しています。地域の人との交流も楽しく、「この野菜あけらい」と声をかけられたり、イノシシの肉をもらったりすることも。もらった和ハーブのクロモジは香りを癒しに利用しています。還暦の手習いで始めた魚料理も自己満足で楽しんでいます。こうした時間の流れや四季の変化を楽しむことが今のゼいたくであり、人生の醍醐味だと考えています。デラシネだからこそ、この地で今までにない楽しみを見つけられるのかもしれない。そんな雑感を思いながら夜空を見上げてみる。今日も星空が奇麗です。

▼次は、千葉真史さん＝中野＝
をお願いします。
※根なし草のこと。故郷をまたず、根の無い草のように生きていく人。

監修 内子町食生活改善推進協議会

Q 広報クイズ

「広報うちこ」9月号を読んで、①～⑤番の丸印をひらがな・カタカナでうめてください。小さい「っ」「ゅ」や、「が」などの濁音も一文字とします。「●」の文字を①番から順につなぐと、ある言葉になります。どんな言葉でしょう。

- ① 9月1日から10日は屋外「○○○●○○」適正化旬間。定期的な点検で事故を防ぎましょう
- ② 五十崎地域で行われた「○○○○●」では、今年の豊作を願いました
- ③ 分別できていないものは収集できません。「●○○○○○」アプリでルールを再確認しましょう
- ④ 内子高校美術部が「○○●○○○○」で詐欺の被害防止を呼びかけました
- ⑤ 正しいフォームを学びませんか。神奈川大学から講師を迎えて「○○○●○」教室を実施します

応募方法：
ハガキに答え、氏名、住所、年齢を書いて送ってください（1人1通まで）。正解者の中から抽選で10人に図書カード（500円）をプレゼントします。
宛て先：〒795-0392
内子町役場 総務課 広報・広聴係
締め切り：9月30日（消印有効）
当選者発表：「広報うちこ」11月号

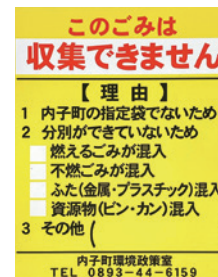
● 7月号当選者の皆さん

答え「ひやけどめ」 正解数 29
 ・大森 克子さん（内子9）
 ・佐古 心佑さん（内子21）
 ・上田 繁子さん（松尾）
 ・福山 紀子さん（大岡）
 ・大石 勇一さん（富長）
 ・山本八重子さん（古田）
 ・中本 礼子さん（大久喜）
 ・井口 千恵さん（天地）
 ・弓立 那奈さん（松山市）
 ・小寺 初美さん（大阪府）

最近、「ごみの分別ができていない」との苦情が増えています。特に可燃ごみの中に缶やビンなどの不燃ごみが混入していることが多いです。内子町では分別できていないごみは収集せず、理由を記し

くらしのエコロジー

ごみ出しのルール 守れていますか



▲分別できていないごみ

た黄色いシールを貼って、再分別をお願いしています。自分が出したごみが残されていたら、責任をもって再分別し出しましょう。

【問い合わせ】
環境政策室
0893(44)6159



▲アンドロイド用



▲アイフォン用

可燃ごみにスプレー缶やライター、電池などが入っていると、収集や処理の際に発火し、火災や作業員のけがにつながる危険があります。ごみを出す前に必ず確認しましょう。
●便利な「ごみ分別アプリ」
 ごみの出し方や収集日などを簡単に調べることができます。ぜひ、ご活用ください。

陸上を頑張る原動力は「家族と仲間」

東灘 ^{ゆう} 優さん（内子小学校6年）＝内子18第1＝

松山市の陸上クラブ「B&M キッズ」の一員として活躍する東灘優さん。9月16・17の両日に神奈川県で開かれる全国大会に出場します。種目は男女混合の4×100mリレーで、優さんは2走を担当。長い直線を持ち味の大きなフォームで走り、後半からぐんぐん伸びるので、男子にも引けを取りません。

リレーメンバーを「信頼する仲間で、みんな努力家」と話す優さん。「ミスをしたら互いに励まし合える関係。いい雰囲気だから、試合でも安心して自分の走りに集中できる」とにっこり。メンバーの走りを見ていると、陰で努力しているのが分かるので、「私も負けてられない」と、苦手なスタートダッシュの練習や坂道の走り込みなど、家でのトレーニングにも励んでいます。優さんは「どんなに練習してもタイムが伸びずにしんどい時、母の言葉や仲間の姿に元気づけられた。自分に負けずに努力して、結果が出たときが一番うれしい。大会では悔いのない走りをして、みんなで喜び合いたい」と目を輝かせました。



TOWN'S STAR

内子町の人☆キラリ

自然に囲まれた、内子での暮らしが楽しみ

内子町の外国語指導助手（ALT）として、アメリカのメイン州から来たパトリック・ブラウンです。すてきな町、内子町の一員になれることに、今からとてもワクワクしています。私を受け入れてくれてありがとうございます。

メイン州は面積のほとんどが森に覆われていて、自然がとても美しい州です。海にも面していて、入り組んだ岩の多い海岸線と、ロブスターなど新鮮でおいしい海産物が有名です。

内子に来る前は、ワシントン州にあるノース・カスケード国立公園近くの小さな町で、森に携わる仕事をしていました。国有林の再生に取り組む学生をサポートしたり、持続可能な森林管理計画を作

成するためのデータ収集をしたりしていました。そうやって自然の中で過ごすうちに、里山での暮らしが大好きになりました。だから内子町での生活をとても楽しみにしています。ハイキングやキャンプ、スノーボードなどのアウトドアも大好きです。ギターの演奏や作曲をするのも趣味なので、どこかで私がギターを手にする姿を目にするかもしれません。趣味を通じて皆さんと一緒に交流できるとうれしです。

こちらに来たばかりで知らないことが多いので、内子のことをたくさん教えてください。仕事をするだけでなく、皆さんと出会い、さまざまな経験や冒険ができることを心待ちにしています。



HELLO!!!

FROM AROUND THE WORLD

外国語指導助手
パトリック・ブラウン

Patrick Brown

VOICE まちの声

運転免許証を返納した後の支援を知りたい

□運転免許証の返納を考えています。町からはどんな支援がありますか。（80代女性）
 ■内子町では運転免許証を自主返納する高齢者に1万5,000円分の助成券を交付しています。助成券には2種類あり、一つは町内のタクシー会社や町営バス・デマ

ンドバスで利用できる助成券、もう一つは町内の給油所で使える助成券です。どちらかをお選びください。手続き方法など、詳しくはお問い合わせください。

【問い合わせ】
総務課 危機管理班
☎0893(44)6150



VOL.269

内子の伝統的な踊りを体験

8月7日に内子笹踊りコンテストに参加しました。内子町国際交流協会の連には、国際交流員のジェニファーさんや、8月2日に内子町へ到着したばかりの外国語指導助手（ALT）のパトリックさんら22人が参加しました。

笹踊りに初めて参加したALTのトップマンさんは「浴衣の着方も知らなかったのに、帯の結び方はとても興味深かった。着心地が良くてびっくり。最初は歩きながら踊るのがとても難しく感じたけれど、上手に踊れるようになったと思う。沿道からたくさんの方が応援してくれたので、楽しく踊ることができた」と話しました。



1_ 浴衣を身にまとい、可憐に踊るジェニファーさん 2_ 本町商店街を彩る大きな笹飾りを堪能

アレックスさん フェアウェルパーティー

7月21日にALTのアレックスさんのフェアウェルパーティー（送別会）を内子自治センターで開催しました。アレックスさんは令和3年12月から石畳小学校、小田小学校、小田中学校で勤務し、8月上旬にイギリスへ帰国。パーティーには親交のあった57人が参加し、一緒に思い出を振り返りました。アレックスさんは「皆さんが温かく迎えてくれたおかげで、とても素晴らしい2年間だった。きっと内子町の景色や皆さんのことが恋しくなるでしょう。またいつか遊びに来ます」と思いを語りました。



1_ 参加者で集合写真 2_ 親交のあった人との楽しいひととき 3_ 内子町絆大使に任命された

国際理解講座再募集

6月号でお知らせした講座が延期になっていたため、参加者を再募集します。ALTのディロンさんと一緒に、塗り絵の要領で簡単にできるペイガンのお守りを作ります。参加を希望する人は協会までご連絡ください。

- 日時 10月6日（金）午後7時～9時
- 場所 内子自治センター
- 定員 20人（高校生以上）
- ※中学生以下は保護者同伴であれば参加可
- 参加費 500円（色鉛筆がある人はご持参ください）

図書館 へ 行こう

内子町図書情報館

〒791-3301
内子町内子3427番地
☎ 0893(44)4198
開館時間：午前9時30分～午後6時（月曜日・月末整理日は休館日）

詳しい情報はホームページで紹介しています。併せてご覧ください ▶



- 「絵本で学ぶSDGs」
絵本とグループワークでSDGs（持続可能な開発目標）を学びます。牛乳パックを使ったブックスタンド作りもあります。
- ▽日時 9月21日（木）午後1時30分～3時30分
- ▽講師 菅弥和乃さん
- ▽申込期限 9月14日（木）
- 大人が楽しむおはなし会
『かなしきデブ猫ちゃん』を題材に、朗読だけでなく、ピアノの演奏やストーリーリーディングを楽しみます。
- ▽日時 10月14日（土）午後6時30分～7時30分
- ▽講師 朗読グループ・ホワイトルピナスの皆さん
- ▽申込期限 10月7日（土）

- 「9月の予定」
- 企画展
▽「ぼくのわたしの食育」
町内の園児が作った、食に関するポスターを展示します。
- おすすめ図書コーナー
▽「心の健康―自分を大切に―」
認知症関連の展示もあります。
- おはなし会
▽土曜日・午後2時～
- 絵本セラピー
▽9月16日（土）午前10時～
- 託児サービス
▽9月27日（水）午前10時～11時
- 文学講座
▽9月9日（土）午前10時～
- ▽内容 話題の本を読む『三千円の使いかた』
- ▽講師 村山洋子さん

新着図書紹介

その他の新着情報はホームページをご覧ください。

♣一般図書



いい子のあくび
高瀬隼子／著
歩きスマホの人をよけるのも、職場で備品を補充するのも、いつも私。不合理だらけの世の中を生きる女性たちの心の叫びを描く



Let's Do アンミカ！
アンミカ／著
幸せになるコミュニケーション力や理想の結婚をかなえる秘訣など、アンミカが相談者の悩みに答えながら、自身の人生哲学を紹介



88歳、しあわせデジタル生活
若宮正子／著
81歳でゲームアプリを作成した著者が、デジタルに苦手意識のある人たちの悩みに寄り添いながら、デジタルの楽しみ方と心の持ちようを伝授

♥児童図書



てんてんきょうだい
山田慶太／文、田口麻由／絵
濁点から生まれた兄弟が、いろいろな言葉に点々を付けていく。日本語の面白さに触れ、子どもの言語センスを養える言葉遊び絵本



こども調べ方教室
茂木秀昭／監修、バウンド／著
インターネットや本などを利用して、理解できるまで調べ続けることの重要性を伝える。あらゆる学習の土台となる「調べる力」を養う一冊



放送委員はにんきもの
小松原宏子／作、あわい／絵
放送委員になったピョンタは、人を楽しませるのが得意な学校一の人気者。楽しい放送になるはずが、委員会ではさまざまな問題が起こって……

○「屋外広告物適正化旬間」に 看板などのチェックをもう一度

9月1日から10日は「屋外広告物適正化旬間」です。魅力あふれる町づくりを推進するため、期間中は愛媛県と各市町が連携して、違反屋外広告物除去などの活動を強化しています。信号機や道路標識に貼られたステッカーや張り紙は違反広告物です。見かけた場合はご連絡ください。

内子町内で看板などの屋外広告物を表示する場合は、「内子町屋外広告物条例」に基づく許可が必要です。許可を受けた屋外広告物も、倒壊や落下などの事故が起きないように定期的に安全点検をしてください。

【問い合わせ】

総務課 政策調整班

☎0893(44)6151

○全国で「住宅・土地統計調査」が始まります

「住宅・土地統計調査」は、住宅や居住する世帯員の状況を把握して、関連施策の基礎資料とするための調査です。対象の世帯に調査員が調査票を配布します。



5年度のポスター

●調査の時期

▽準備調査 9月初旬から

▽実地調査 9月下旬から

●調査期日 5年10月1日現在

●調査対象 国が無作為に抽出した世帯

●回答方法 配布された調査票に記入して調査員に直接渡すか、返信用封筒で提出してください。オンラインでも回答できます。

【問い合わせ】

総務課 文書・情報係

☎0893(44)6150

○心が疲れたら、まず相談を——

「こころの健康相談」を利用してみませんか

不眠や心の不調などの悩みはありませんか。保健センターの「こころの健康相談」では、臨床心理士などが無料で相談に応じしています。秘密は厳守しますので、気軽にご相談ください。

《①五十崎保健センター》

●日時 9月13日(水)

午前9時～正午

●相談担当 幸田裕司さん(心理療法士)

《②小田保健センター》

●日時 9月25日(月)

午前9時～正午

●相談担当 松田有紀さん(臨床心理士)

《①②共通事項》

●対象 本人または家族

●相談時間 1人1時間程度

●申込方法 相談日の前日までに電話で予約してください。

【申込・問い合わせ】

内子町保健センター

☎0893(44)6155

○「内子町生活応援商品券」を配布します

町民の家計を支援して地域経済の振興を図るため「内子町生活応援商品券」を給付します。

●対象者 5年8月1日現在で内子町の住民基本台帳に登録されている人

※死亡や転出などで対象とならない場合があります。

●給付内容 対象者1人当たり1万円分の商品券

●給付方法 9月末までに世帯主宛てに送付します。

●商品券の種類

▽共通券(500円券×8枚)

▽地域応援券(500円券×12枚)

※地域応援券はスーパードライなどを除く取扱店で使えます。詳細は同封のチラシをご確認ください。

●商品券の有効期間 10月1日(日)～6年1月31日(水)

【問い合わせ】

総務課 政策調整班

☎0893(44)6151

令和6年度奨学生を募集します

経済的な理由で就学が困難な人に対して、奨学金を無利子で貸与します。希望する人は次の要領で願書を提出してください。

●募集人数／貸与金額(予定)

▷内子町奨学生

・高等学校奨学生 10人／月額1万8千円

・大学奨学生 10人／月額5万円

▷高畑奨学生

・大学奨学生 2人／月額7万円

●貸与期間 6年4月から、進学した学校の最短修学期間

●応募資格 次の①～③を満たす人

①来春、高等学校または大学・専門学校に進学を希望する日本国民で、保護者が内子町に在住する人

②学業・人物ともに優れ、学資の支弁が困難と認められる人

③他の奨学資金・給付を受けていない人

●出願方法 願書に保護者などの所得証明を添付して、在学中の学校に提出してください。

※奨学資金の貸与を希望する人は、まず在学中の学校に相談してください。願書は在学中の学校または内子町教育委員会で入手できます。

●提出期限 在学する学校が定めた日

●奨学生の決定 12月上旬開催予定の選考委員会を経て内定者を決定します。

※最終決定には、入学届と町内在住の保証人が署名した誓約書の提出が必要です。

●その他 返還の方法や猶予・免除などの詳細は、お問い合わせください。

【問い合わせ】

内子町教育委員会 学校教育課 学校教育係(内子分庁内)

☎0893(44)2124

月明かりに照らされる町並と篠笛の調べ——

八日市町並

観月会

9月29日(金).30日(土)

●開催時間 午後6時～9時

●場所 八日市護国伝統的建造物群保存地区

●主な催し

▶町家での琴の演奏

▶上芳我邸での篠笛の演奏『月満ちて～篠笛の調べ～』

▶手漉き和紙作品展

▶高昌寺でのお月見茶房(※29日のみ、300円)

▶はぜとり唄・踊り(※30日のみ)

●開催日の交通規制

午後6時30分から9時まで、町並保存地区は車両通行止めになります。

※護国駐車場を無料開放します(午後5時～9時)

●主催 八日市町並観月会実行委員会

【問い合わせ】

八日市・護国町並保存センター

☎0893(44)5212 ※火曜日定休

○町営住宅の入居者を募集します



田ノ口団地



新中組団地

《住宅の規格・家賃など》
 ①田ノ口団地231号(五十崎地区)
 ▽住所 平岡甲1817番地
 ▽構造 中層耐火3階・S55建
 ▽面積他 67・0㎡、3DK
 ▽家賃(月額) 1万8900円
 ▽対象者 同居中または同居しようとする親族がある人
 ※駐車場あり

②新中組団地102号(小田地区)
 ▽住所 寺村1097番地
 ▽構造 木造平屋・H27建
 ▽面積他 54・78㎡、2DK
 ▽家賃(月額) 1万5300円
 ▽対象者 自ら居住するために住宅を必要とする60歳以上の単身者
 ※駐車場あり、オール電化
 《共通事項》
 ●入居資格 住居に困窮して月額所得が15万8000円以下の人
 ●申込方法 建設デザイン課・内子分庁・小田支所にある申込書を提出してください。
 ●申込期限 9月22日(金)
 ●その他
 ▽入居時には敷金(家賃3カ月分)が必要です。
 ▽家賃は入居者の収入により決定します。
 ※詳しくは内子町のホームページをご覧ください。
 ID 137984
 【申込・問い合わせ】
 建設デザイン課 管理係
 ☎0893(44)6157

○みんなで小田深山にブナの森を育てよう
植樹活動に参加してみませんか

ブナは森の保水などの重要な役割を持つ、小田深山のシンボルです。皆さんとブナの森を増やすための植樹活動を行います。

《①記念樹の森事業》

●対象 個人、家族
 ●募集組数 10組
 ●内容 区画内に記念樹として数本を植樹します。
 ●②企業等共同の森事業
 ●対象 団体、企業など
 ●募集団体数 3団体
 ●内容 自然環境保全の取り組みとして、団体で植樹します。

《共通事項》
 ●実施時期 10月～11月
 ※植樹の日は申込者と調整のうえ決定します。

●場所 小田深山千年の森公園
 ●参加費 無料
 ●申込方法 電話でお申し込みください。
 ●申込期限 9月30日(土)
 【申込・問い合わせ】
 小田支所
 ☎0892(52)3111

○内子町民の伝統文化施設利用が無料に——
期間限定の社会実験を実施します

郷土の歴史や文化財に親しんでもらうため、内子町民を対象に伝統文化施設の入館料を免除する社会実験を行います。

●実施期間 10月1日(日)～6年9月30日(月)
 ※運営に支障が出たときは期間中でも中止します。
 ●対象施設 内子座、歴史民俗資料館、上芳我邸

●免除の方法 マイナンバーカードなど、住所と氏名の記載がある写真付きの証明書を提示してください。

※小中学生は入館時に氏名などを用紙に記入することでも無料になります。
 【問い合わせ】
 町並・地域振興課 伝統文化施設係
 ☎0893(44)2118

コラム*ねんきん瓦版

国民年金被保険者の皆さんへ

「任意加入制度」で年金額を増やせます

60歳までに国民年金保険料を納めていない期間や国民年金に加入していない期間があり、老齢基礎年金を満額受給できない人は、「任意加入制度」を利用することで、65歳から受け取る老齢基礎年金額を増やすことができます。

●任意加入の条件

次の①～④のすべてを満たす人

- ①日本国内に住む60歳以上65歳未満の人
- ②老齢基礎年金の繰上げ支給を受けていない人
- ③保険料の納付月数が480月未満の人
- ④厚生年金保険、共済組合に加入していない人

●こんな人も任意加入できます

- ▷年金の受給資格期間(10年)を満たしていない65歳以上70歳未満の人
- ▷外国に住む日本人で20歳以上65歳未満の人
- ※加入条件などの詳細はお問い合わせください。

●加入手続きの留意点

- ▷保険料の納付方法は口座振替です。
- ▷加入月は申し出のあった月からです。さかのぼっての加入はできません。
- ▷国民年金に任意加入した人は、保険料の免除や納付猶予、学生納付特例の申請はできません。

●必要書類

- ▷年金手帳または基礎年金番号通知書
- ▷預貯金などの通帳と届出印

●手続きできる場所

内子町役場または年金事務所

【問い合わせ】

○松山西年金事務所
 ☎089(925)5105
 ○住民課 国民年金係
 ☎0893(44)6152

内子の商いの歴史を学びませんか——

企画展「内子のくすり広告・看板」のお知らせ

さまざまなテーマで内子町の歴史を深掘りする企画展を開催します。第1回は近代内子の薬屋の商いを紹介する展示と講演会を行います。

《企画展》

町が所蔵する貴重な薬広告や看板を展示します。

- 期間 10月7日(土)～12月17日(日)
- 時間 午前9時～午後4時30分
- 入館料 大人200円、小中学生100円

※内子町民は無料です。マイナンバーカードなどの顔写真付きの身分証を提示してください。



《講演会》

- 日時 11月26日(日)午前10時～正午
- テーマ 「内子町 郷土に残るくすり看板、くすり広告」
- 講師 稲垣裕美さん(内藤記念くすり博物館学芸員)
- 内容 薬の広告や看板の歴史や、内子町に残る薬の関係資料を紹介します。
- 受講料 無料
- 申込方法 電話でお申し込みください。

《共通事項》

- 場所 内子町歴史民俗資料館(商いと暮らし博物館)

【申込・問い合わせ】

町並・地域振興課 歴史まちづくり係
 ☎0893(44)2118

文化・芸術・芸能を気軽に楽しもう 「こども文化体験教室」のご案内



昨年の生け花体験の様子

生け花や茶道、大正琴などのさまざまな文化体験ができる教室を開きます。絵画や将棋など初開催の体験もあります。

- 日時 10月7日(土) 午前9時～
- 場所 内子町共生館
- 対象 小学生
- 入場料 無料
- 主催 内子町文化協会
- ※詳細は内子町のホームページをご覧ください。
- ID 128916
- 【問い合わせ】
内子町教育委員会 自治・学習課
生涯学習係(内子分庁内)
☎0893(44)2114

内子町への移住・定住をサポートする 「移住コーディネーター」を募集します

内子町への移住を検討している人からの相談対応や、定住のための支援をする「内子町移住コーディネーター」を募集します。

- 採用人数 1人
- 選考方法 書類審査・面接
- 委託料 実績による(委託期間内146万円以内)
- 応募資格 相談対応や移住支援に相当の実績がある人 他
- 応募期限 9月29日(金)

- 応募方法 所定の応募用紙を提出してください。
- ※応募用紙の入手と詳細の確認は、内子町ホームページでできます。
- ID 132670
- 委託期間 11月1日～6年3月31日
- 【応募・問い合わせ】
総務課政策調整班 定住促進係
☎0893(44)6151

催し

第3回「コミュニティ・カレッジ」のご案内

- 日時 9月21日(木)午後7時～
- 場所 内子自治センター
- テーマ 「人新世を生きる恐怖と希望」
- 講師 ルプレヒト・クリストフさん(愛媛大学准教授)
- 内容 SDGs(持続可能な開発目標)に触れながら、世界の未来について話します。
- 受講料 500円(高校生は無料)
- ※ライブ配信を希望する場合は、受講日の前日までにメールでご連絡ください。

【申込・問い合わせ】

内子町教育委員会 自治・学習課
生涯学習係(内子分庁内)
☎0893(44)2114
✉gakusyujichi-s@town.uchiko.ehime.jp

走りの基本が学べる ランニング教室を開催

- 日時 9月24日(日)
午前9時～11時

- 場所 内子町共生館
- 講師 岩原正樹さん(神奈川県)
- 内容 正しいフォームで走るコツやトレーニングの基礎などを学びます。
- 対象 ランニング初心者、健康づくりをしたい人など
- 参加費 無料



講師の岩原正樹さん

【問い合わせ】

内子町教育委員会 自治・学習課
社会体育係(内子分庁内)
☎0893(44)2114

うちこ福祉館事業

《やさしい手話教室》

- 内容
- ①大人向け教室
- ▽日時 月曜日/午前10時～正午(全12回)
- ▽定員 7人
- ②学生・児童向け教室
- ▽日時 金曜日/午後7時30分

保健センター「糖尿病予防教室」のご案内

糖尿病について詳しく学ぶ講座を開きます。糖尿病は発症すると治癒しない恐ろしい病気です。正しく理解して予防に努めましょう。興味のある講座だけでも参加できます。

講座①「糖尿病を知り、予防しよう」

- 日時 11月14日(火) 午後1時30分～3時
- 講師 松浦文三さん(愛媛大学医学部附属病院 医師)
- 内容 糖尿病が引き起こす合併症のリスクと、予防に大切な生活習慣の改善を考えます。

講座②「糖尿病と歯周病の関係」

- 日時 11月21日(火) 午前10時～11時30分
- 講師 塩田雄也さん(しおたファミリー歯科&矯正歯科 歯科医師)
- 内容 糖尿病を悪化させる歯周病を防ぐため、セルフケアの方法などを学びます。

講座③「ランチョンセミナー(昼食付き)」

- 日時 11月30日(木) 午前10時～正午
- 講師 内子町管理栄養士
- 内容 食事時間や栄養バランスなど、糖尿病予防のため気を付けたいポイントを紹介します。

《共通事項》

- 場所 内子自治センター
- 対象 糖尿病予防に関心のある40～74歳の人
※講座③はHbA1cが6.0～6.4%で未治療の人
- 定員 各講座30人
- 参加費 無料
- 申込方法 電話でお申し込みください。
- 申込期限 10月13日(金)

【申込・問い合わせ】

内子町保健センター
☎0893(44)6155

お知らせ

期間限定でお得に使える シニア向け観光タクシー

ねりんピック開催に合わせて、ウェブ予約でお得に利用できる観光タクシーを運行します。

- 実施期間 10月5日(木)～16日(月)
- 運行区間 希望する場所～県指定観光地
- 対象 県内在住の60歳以上の人
- ※予約方法などの詳細は、愛媛県のホームページをご覧ください。



【問い合わせ】

愛媛県ねりんピック推進課
☎089(961)1529

うちこ福祉館の外観



【申込・問い合わせ】

うちこ福祉館
☎0893(44)3410

お知らせ

9月9日は「救急の日」
救急車の利用は適切に

救急車の数には限りがあります。必要な人が安心して救急医療を受けられるよう、救急車の適切な利用をお願いします。症状が軽い場合などは、次のサービスをご利用ください。

《①大洲喜多休日夜間急患センター》

休日や夜間、症状の軽い中学生以上の応急処置ができます。

☎0893(23)1156

《②小児在宅当番医》

休日や夜間、症状の軽い子ども以外の治療ができます。

※①②は広報うちこで毎月お知らせしています。

《③音声案内サービス》

休日や夜間、病院に行くべきか迷ったときや、どの病院に行けばいいかわからない場合などにご利用ください。

▽消防署音声案内サービス

☎0893(24)7000

▽えひめ救急電話相談

☎#7119

▽子ども医療電話相談

自分や家族の命のために
早期受診で結核予防

9月24日～30日は「結核予防週間」です。結核は早期発見が大切で、重症化を防ぐほか、大切な家族などへの感染防止にもつながります。

結核はきちんと薬を飲めば治る病気です。年に1回は胸部エックス線検査を受けて、自分や家族の健康を守りましょう。

《こんな時はすぐ受診》

▽せきが2週間以上続く、たんが出る、微熱が続く、体重が

☎#8000

※緊急性がある場合は、迷わず119番通報をしてください。



救急医療の利用方法を再確認しよう

【問い合わせ】

内子消防署

☎0893(43)0119

子育て世帯を支援する
応援金があります

物価高騰による家計への影響が大きい子育て世帯に応援金を支給します。

《①低所得の子育て世帯》

●給付対象世帯 5年度住民税均等割のみ課税の子育て世帯

●給付金額 1世帯当たり3万円

《②出産子育て世帯》

●給付対象世帯 5年1月1日～6年3月31日に生まれた子

減った、体がだるい、胸が痛いなど

【問い合わせ】

八幡浜保健所 感染症対策係

☎0894(22)4111

建設業労働者の退職金
「建退共」をご利用ください

建退共制度は中小企業退職金共済法に基づく国の退職金制度です。建設現場労働者の福祉の増進と、建設業を営む中小企業の振興を目的に設立され、掛け金の一部を国が助成します。詳

どもがいる世帯

●給付金額 対象の子ども1人当たり3万円

※対象者や申請方法などの詳細は、愛媛県のホームページをご確認ください。



【問い合わせ】

子育て世帯生活応援給付金コールセンター

☎089(993)5901

川の流れの変化に注意
龍宮堰の堰下げ



下げた状態の龍宮堰

龍宮堰を倒します。堰下げ後は川の流れが速くなり危険です。作業時は川に近づかないようにしてください。

●作業日時 9月29日(金)

午前9時～

※天候により終了時間は変わります。

●場所 龍宮堰(五十崎風博物館付近の堰)

【問い合わせ】

五十崎土地改良区事務局(内子分庁農林振興課内)

☎0893(44)2123

オンラインの事業所体験で
仕事の理解を深めよう

愛媛県内の事業所をオンラインで見学するインターンシップです。2日間で業種の異なる2社を体験できます。

●開催期間 9月29日(金) ※期間内に2日間のツアーを計5回実施します。

●時間

▽1日目 午後1時～4時30分

▽2日目 午後1時～5時

●対象 大学生、大学院生、専門学生など(全学年)

●参加費 無料

※事前に申し込みが必要です。詳細はホームページをご確認ください。



【申込・問い合わせ】

ジョブカフェ愛Work

☎089(913)8686

《夜間電話相談》

●日時 10月3日(火)・19日

(木)／午後5時15分～8時

《労働委員専門相談》

●日時 10月13日(金)・27日

(金)／午後2時15分～5時

●場所 中予地方局

※事前に予約が必要です。詳細はホームページをご確認ください。



【問い合わせ】

愛媛県労働委員会事務局

☎089(912)2996

ものづくりの技術を
専門学校で学びませんか

新居浜産業技術専門学校では6年度の入学生を募集します。

●募集科目 メカトロニクス科、自動車整備科、メタル技術科

●対象 高等学校卒業生

●試験日 10月27日(金)

●願書受付期間 9月25日(月)

10月20日(金)

※詳細はお問い合わせください。

【問い合わせ】

愛媛県立新居浜産業技術専門学校

☎0897(43)4123

日本人に多い「大腸がん」
検診で早期発見・治療につなげましょう

●日本人に増えている「大腸がん」

日本では2人に1人が生涯のうちにがんにかかるといわれています。中でも大腸がんの患者数が最も多く、年々増え続けており令和元年には15万人を超えています。がんによる死亡数でも大腸がんは女性で1位、男性で2位となっています。発見が遅れると完治が難しい病気です。

●こんな人は要注意

大腸がんが増えているのは食生活の欧米化が原因といわれています。アルコールの取り過ぎや肥満ががんを引き起こすことが分かっており、運動不足や喫煙も大腸がんのリスクを高めます。さらに加齢とともに発症しやすくなる傾向にあり、特に40代から発症率が急激に高くなるので、注意が必要です。

●早期発見が大切

大腸がんは早期に発見すれば、負担の少ない治療で済み、治せる可能性が高いがんです。初期では自覚症状がないので、早期発見のためには定期的に検診を受けることが大切です。

大腸がん検診として行う「便潜血検査」は自宅でも簡単にできます。便潜血検査で陽性だった場合、大腸がんに限らず治療が必要な病気である可能性が高いです。「ただの痔だろう」と軽く考えて放置せずに、きちんと精密検査を受けるようにしましょう。

●集団健診を実施しています

5年度の集団健診の実施日は残りわずかです。希望する人で受診がまだの場合は、早めに保健センターにご連絡ください。

10月の相談日・救急当番医

●年金1日相談

日時：12(木)・26(木)の午前10時～午後3時30分
場所：内子自治センター ※相談は予約制です。
予約・問い合わせ：松山西年金事務所
☎089(925)5110

●行政相談

日時：10(火)の午前9時30分～正午
場所：町民会館／内子分庁／小田自治センター
問い合わせ：総務課 ☎0893(44)6150

●心配ごと相談

日時：17(火)の午前9時30分～正午
場所：内子分庁
※心配ごと相談は予約制です。前日までに電話でお申し込みください。
問い合わせ：内子町社会福祉協議会 ☎0893(44)3820

●人権相談

日時：10(火)の午前9時30分～正午
場所：五十崎自治センター
問い合わせ：住民課 ☎0893(44)6152

●小児在宅当番医

日	医院名	電話番号
1(日)	山下小児科(西予市)	0894(62)6801
8(日)	八幡浜一次救急休日・夜間診療所	0894(24)1199
9(月)	ごとう小児科(大洲市)	0893(23)0510
15(日)	八幡浜一次救急休日・夜間診療所	0894(24)1199
22(日)	みかんこどもクリニック(八幡浜市)	0894(20)8800
29(日)	おおくぼこどもクリニック(大洲市)	0893(57)9366

※けがなどの外科治療は、救急病院をご利用ください。

●大洲喜多休日夜間急患センター ☎0893(23)1156

診療科目	診療時間
内科	○昼間：午前9時～午後6時(日曜・祝日) ○夜間：午後7時～10時(平日、土・日曜日)

※当センターの診療は応急措置のみです。休日や夜間に急に具合が悪くなった、中学生以上の人が受診できます。

●救急病院

曜日	病院名	電話番号
月・火	市立大洲病院	0893(24)2151
水	日中：加戸病院	0893(44)5500
	夜間：喜多医師会病院	0893(25)0535
木	日中：大洲記念病院	0893(25)2022
	夜間：市立八幡浜総合病院	0894(22)3211
金・土	大洲中央病院	0893(24)4551
	日中：大洲中央病院	0893(24)4551
日	夜間：市立八幡浜総合病院	0894(22)3211

10月の健康カレンダー

●成人保健

受診は予約した人に限ります。受診を希望する人で申し込みがまだの場合は、内子町保健センターまでご連絡ください。

レディース検診(子宮頸がん、乳がんマンモグラフィ、乳がん超音波、骨粗しょう症)

日	受付時間	場所
22(日)	午前9時～11時30分	内子東自治センター

◎託児を利用できます。希望する人は10月10日(火)までにご連絡ください。

●母子保健

育児相談

日	受付時間	場所	対象
2(月)	午前9時30分～10時30分	小田保健センター	乳幼児
4(水)	午前9時30分～11時	内子保健センター	
11(水)		五十崎保健センター	

1歳Comeかむ教室(むし歯予防教室)

日	受付時間	場所	対象
17(火)	午前9時30分～10時	内子保健センター	4年8月・9月生まれ

離乳食教室

日	受付時間	場所	対象
25(水)	午前9時45分～10時	内子保健センター	5年5月・6月生まれ

1歳6カ月児健康診査

日	受付時間	場所	対象
26(木)	午後1時～1時15分	内子保健センター	4年2月・3月生まれ

3歳児健康診査

日	受付時間	場所	対象
27(金)	午後0時45分～1時15分	内子保健センター	2年8月・9月生まれ

【問い合わせ】

内子町保健センター
☎0893(44)6155

住人十色

第
166
回



◎右から池田さん、相原さん、船本さん。3人の笑顔からもチームの明るい雰囲気が伝わってくる

最後まで明るく全力でプレー チームワークでつかんだ全国ベスト8

池田龍平^{りゅうへい}さん(大瀬中3年)=宿茂^{しゅくしげ}=、相原悠飛^{ゆうと}さん(小田中3年)=鈴ノ子^{すずのこ}=、
船本烈風^{れつふう}さん(同2年)=宮原=

「愛媛ウエストジュニア」に所属する池田龍平さん、相原悠飛さん、船本烈風さんが、8月に開かれた「第23回全日本中学生ソフトボール大会」に出場し、ベスト8の成績を収めました。

池田さんと相原さんは2回目の全国の舞台への挑戦です。初戦に勝利して迎えた準々決勝の相手は優勝候補の大阪のチーム。全国レベルの相手との対戦に、池田さんが「初球から積極的に打ちたかったけれど、うまく抑えられた」と悔しさを語ると、相原さんは「最終回の2アウトで打席が回った。絶対に後ろになろうと必死だった」と続けます。初めての全国大会でセンターを守った船本さんは「送球がそれて先制され、流れが相手にいってしまった。もったいいプレーができていれば」と、それぞれ印象に残る場面を振り返ります。

チームについて「どこよりも雰囲気がいい」と話す3人。大事な局面では池田さんが大きな声で選手を鼓舞し、相原さんは積極的なプレーでチームを勢いづけてきました。3年生の引退後も、このムードを受け継いでいくのが船本さんの目標です。最後に3年生の2人から船本さんへ「来年こそは全国優勝」と笑顔でエールを送っていました。

編集 幸記

▽今月も全国大会に出場した皆さん取材しました。がんばる皆さんの話を聞かせてもらおうといつも元気をもらえます。今の私は運動不足でカメラより重いものは持てません。9月は取材で走り回って鍛え直します(史)
▽各地で夏祭りが復活。「行くしかないじゃん」と全部行きました(取材だけ……)。いかざき花火大会当日は、自分の二十歳の誕生日。カメラに収まらないくらい大きな花火を見て「でっかい大人になろう」と心に決めました(花)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

